

根拠

○生徒の声を大切に。チームで授業改善していく。主体的・対話的で深い学びを実現。授業プランを実践している。  
○生徒一人ひとりに主体的理解を(は)かす授業プランを進めていくことが大切。

学校

A2主の授業

授業の中でなかなか課題にこたえない生徒がいる

A2主の気づき

みんなが参加できて「やってみよう」と思える授業をめざしたい。

令和5年度 研究主題 教科の指導と生徒指導の一体化へ生徒指導の視点の授業プランの刷新が生徒と有らへ

タブレットを活用し、みんなでお話しを共有し、教員合う姿があった。

学び合い、教員合い、か子と先生の中で定着しつつある。中心してやる生徒達つづいて何かな?

みんなが中心してやる、みんなが学び合っていく。授業はやはり難しい。学び合っていく授業の難しさを生徒一人ひとりに理解していただく。授業プランを工夫して、生徒の声を大切にしたい。

◎授業と生徒指導は両輪(一体化)

◎子どもたちがみんなの学校作り

公開授業をやってみて、他教科の先生からいっしょにはらつ視点のアドバイスをもらえた。

みんなが「やってみよう」と思える課題の設定の難しさ。子どもたち一人ひとりの声は、先生にしっかりと届くか。

生徒一人ひとりに丁寧に見て、主体的理解をしていただく。授業プランを工夫して、生徒の声を大切にしたい。

学校教育目標  
自らと向き、居座り仲間、地域とつながり、初めから未来を生き抜く生徒の育成

校内研究の流れ

目指す児童生徒の姿  
○自己肯定感と意欲があること  
○他者と協働していること  
○柔軟性や変化に強くなること

G-OJTの7ループ決定

第1回校内研究会  
学校教育目標の再確認  
生徒の声と先生の声の7ループ決定  
2023.05.24

授業公開週間①  
各グループ中心の授業を公開。グループ発表。授業を参観。  
2023.06.05 ~ 06.11

第2回校内研究会  
公開授業の検討会  
各グループで発表。グループ発表。生徒の検討。  
2023.06.14

生徒授業評価アンケート実施  
生徒一人ひとりの声に各教科の授業の改善と生徒に届く。  
2023.07.06

第3回校内研究会  
生徒授業評価アンケート結果の振り返り。生徒の声と先生の声の7ループ決定。  
2023.07.07

本校の現状と課題  
生徒一人ひとりに主体的理解を個別最適化の手立てしていくこと  
先生、先生方から、子どもたちの見守り支援。声かけの中心。全員が参加できる授業へ

生徒指導の視点から、主体的理解を促す授業プランの刷新

学校の課題

SWOT分析  
強み  
○各教科の授業の質の高さ  
○先生方の熱意  
○先生方と先生方の協働  
○先生方と先生方の協働  
○先生方と先生方の協働  
○先生方と先生方の協働

校内研究と自分事として  
日々の授業に校内研究で学んだこととうながり、子どもたちの成長につなげる。

1学期とつづいたこと  
先生一人ひとりが、自分の授業経験と向き、授業プランの改善をして、校内研究の成果を踏まえて、日々の授業に活かす。

夏休みの研修会

- ◎生徒一人ひとりの授業プラン
- ◎非習熟者の授業プラン
- ◎7ループは学校教育目標へ

5月2日 プロジェクト研究会①

5月22日 プロジェクト研究会② パワーアップ研修①

7月7日 プロジェクト研究会③

8月3日 プロジェクト研究会④ パワーアップ研修②

8月22日 プロジェクト研究会⑤

8月までの取組の成果

○先生方みんなが校内研究の大切さを理解し、校内研究に活発に取り組んでいらっしゃる。  
○ベテランの先生から日ごろ生徒支援や授業プラン大いにしていることと若手の先生に伝える良い機会に、校内研究がなっている。

課題と9月以降の取組

○個人のテーマ、グループのテーマより掘り下げて、授業プランを深めていく。  
○生徒がみんな中心にして、生徒が輝く授業プラン。

光輝け、



生徒一人ひとりが輝く授業プラン